



船橋市議会議員（市民社会ネット）

浦田 秀夫 通信

第 8 4 号
(2012 年 2 月)

自 宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL&FAX 047- 466-6019

事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL&FAX 047- 461-1350

メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ <http://urata-hideo.seesaa.net/>

保育園の待機児童数 1245人で過去最大

船橋市の保育園の待機児童数は1月1日現在で1,245人と過去最大の人数に達し、緊急事態の様相だ。

市は待機児童対策として保育園の新設、増改築によって22年度390人、23年度362人の定員増を図ったが、待機児童数は増加するばかり。

22年度からは家庭的保育事業を始めたが、23年度の委託児童数は30人で焼け石に水の感じ。

現在新設・増設計画がはっきりしているのは、24年度が高根台のURの団地再生（開発）に伴う60人定員の新築、中央保育園の建替えに伴う60人の定員増、25年度が飯山満駅前に90人定員の新築と山手の旭硝子跡地再開発に伴う140人～160人程度の新築、26年度が行田の国家公務員体育センター跡地に160人定員の新築などである。

認可外保育施設の補助を検討中

しかし、これだけではとても待機児童解消には間に合わない。さらなる新築、増築が必要だ。

市は、認可保育園の新築、増築だけではなく、認可外保育施設への運営費補助や幼稚園の預かり保育について検討中で、認可外保育施設への運営費補助については今年度中に方向性を示したいと述べたが、幼稚園の預かり保育についてはシステムのあり方等具体的に詰まっていない現状だ。

また、22年度から始まった家庭的保育事業も24年度45人、25年度60人、26年度75人と規模が小さい。待機児童問題が緊急事態であるとの認識やその対策が十分とは言えない。



市立医療センター 将来ビジョンの検討が必要

医療センターは昭和58年10月に急性期医療及び高度医療を提供するための総合診療機能を有する市の中核病院として9診療科152床で開設された。

平成6年に県の東葛南部保健医療圏の三次救急を担う救命救急センターを併設、平成8年に災害拠点病院、平成19年に地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、平成21年から地方公営企業法の全部適用に移行し、平成22年に緩和ケア病棟を開設し、現在23診療科446床となっている。

地方公営企業法の全部適用により、病院事業管理者が置かれ、21年度から3力年の経営改革プランが実行されてきた。

21年3月末から24年1月の間、医師は67人から82人に、看護師は339人から388人に増えた。

経営指標である医業収支比率は21年度の92.6%から22年度98.1%、23年度99.2%と大幅に向上し、一般会計からの繰入れは24億22百万円から19億9百万円に減少した。病院事業管理者を先頭にした職員の経営改革の成果だ。

しかし、開設30年を迎え、診療施設の老朽化や将来の建替え用地など今後の課題も多い。医療センターの将来ビジョンについての調査・研究を開始する時期を迎えている。

介護保険事業計画の住民説明会

1月14日、高根台公民館で市の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の住民説明会があった。



参加した住民からは、市が次期（24年度～26年度）介護保険料を現在の基準月額3,840円から4,300円へ12%の値上げを試算していることに対し「国は公費半分、保険料半分と言いつつながら財政基盤の弱い自治体の支援のための調整交付金（介護費用の3.45%約31億円相当額）を65才以上の第1号保険者の保険料で負担させるのは納得できない。」「介護保険料は介護を使っていない人にとって重い負担になっている無駄な介護サービスはやめて保険料を安くしてほしい」などの意見・質問が出された。

介護保険制度は所得や資産のない人でも保険料支払い義務があり、累進性が小さく所得の低い人ほど負担感が大きい。また、サービス給付が増えるに従って保険料が値上げされる仕組みになっている。

市民にサービス給付を増やすのか、保険料を値上げするのかを迫り、介護保険を使っている人と使っていない人の対立を産み出す仕組みになっている。

ここには国や自治体の責任がなく福祉や社会保障制度とは言えないものであることはすでに述べて来た。

国は公費半分と言って来た訳だから、財政基盤の弱い自治体への支援は、市民の保険料でなく国の税金で行なうべきだ。

また、累進性を高め低所得者の負担を軽減するために、保険料の多段階化と所得金額の上限額を大幅に引き上げるべきだ。

今日の説明会、いつものことながら、説明に対する質問、意見の時間が本当に短い。介護サービスを受けている方やその家族の意見がなかった（時間がなかった）のは残念だ。

皆様のご意見やご批判をお待ちしています。また、市政に関すること何でも気軽にご相談ください。

我が家にも太陽光発電を設置

昨年の11月に我が家にも太陽光発電システム（2.7kw）を設置した。原子力や化石燃料に頼らない自然エネルギーによる発電だ。

12月の発電量は280kwhで消費電力が244kwh 自給率は100%であった。

発電の内、233kwhを東京電力に売ることができ1カ月で11,055円の節電効果となった。

太陽光発電の発電量は日照時間と太陽の高さによって決まる。

我が家に設置された太陽光発電は、従来型の結晶シリコン系電池ではなくCIS太陽電池と言われているもので発電量が8%増えると言われている。

年間の発電目標は 3,200kwh 月平均で266kwh。12月は日照時間が年間でもっとも短く太陽も低い中での280kwhの発電は目標以上の発電量となった。

浦田秀夫を囲む新春の集い

2012年浦田秀夫を囲む新春の集いを1月15日、高根台公民館で開催した。



今回も100人を超える会員や支持者の皆さんに参加していただいた。

第1部は、私の市政報告で3.11の大震災と原発事故による被害の状況と放射能汚染対策、12月議会で取り上げた介護保険事業計画などについて報告した。また、来賓の方々から励ましのお言葉を戴いた。

第2部は新年会、多彩なアトラクションが披露され、今回初出演のウグイスコーラスの発表には会場からアンコールの声も出された。

寒い中、ご参加して戴いた皆さんありがとうございました。

私のブログは市政や県政、国政に関する意見、主張、日頃の活動、イベントのお知らせなどほぼ毎日更新しています。浦田秀夫で検索し、ぜひ一度ご覧下さい。